

シンポジウム「住環境と健康」

日時

2016年8月23日（火） 14:00-17:00

場所

東京大学医学部本館 1 F 小講堂

申込

お名前、ご所属、連絡先（E-mail）を全公連事務局（japhsa14@gmail.com）にお知らせください。

◇ 高橋 龍太郎

（東京都健康長寿医療センター研究所 前副所長）

「人は住まいとともに生き、老いる」

◇ 伊香賀 俊治

（慶應義塾大学教授・理工学部システムデザイン工学科主任）

「住環境が居住者の血圧・活動量・睡眠に及ぼす影響に関する実測調査」

◇ パネルディスカッション（意見交換）

家屋の構造・室内環境は、災害による人身被害、高齢者介護、健康増進・疾病予防などと関連する公衆衛生上の重要な問題です。今後、何回かにわたってこの問題を全公連のシンポジウムで取り上げ、考えていきたいと思えます。まず、第一回目は、東京都健康長寿医療センター研究所 前副所長の高橋先生に住まいと健康・長寿の問題を広い視野からお話しいただくとともに、国交省スマートウェルネス住宅等推進調査事業で調査を担当されている伊香賀慶応大学理工学部教授にお話を伺います。